

2018年度Ⅱ期

こんなに面白い!

古典文学に親しむ…

源氏物語に親しむ

～各巻のあらすじとそのエッセンスを味わう～

講師：青木 登 紀行作家



源氏物語は平安時代の紫式部が書いた世界最高の文学作品。日本人にして、源氏物語を知らずに無為に過ごすのは惜しい。源氏物語には日本人の感性・喜怒哀楽・生き方・美しい日本の自然など、日本のすべてが凝縮されている。

源氏物語は54帖(巻)から構成され、今回は19帖「薄雲」、光源氏32歳からの物語となる。源氏は超美男子で頭がよく、すべての芸能にすぐれている。しかし好色漢、義母と密通し、兄の皇太子の婚約者と契った。それが発覚して冠位を剥奪され、都落ちをした。帝になった兄からゆるされ、もとの冠位に戻り、再びこの世の春を迎えた。兄の帝は譲位し、源氏と藤壺が密通して生まれた子が帝になった。

その冷泉の正妻に誰になるかで、源氏が後見役をしている梅壺(六条御息所の姫)と源氏の親友の姫が対立した。六条御息所の姫が中宮になり、源氏の親友は面白くない。腹いせに源氏の長男の夕霧と自分の娘の雲居雁との仲をさいた。一方、源氏が都落ちしたときに契った明石の君と紫の上との対立も始まった。この二つの対立を軸に巻19「薄雲」からの物語が展開される。それがどのように収まるか、収まらないか、現代の私たちにも参考になる物語となる。

- 第10回 卷19「薄雲」・卷20「朝顔」・卷21「少女」
- 第11回 卷22「玉鬢」・卷23「初音」・卷24「胡蝶」
- 第12回 卷25「蛩」・卷26「常夏」・卷27「篝火」
- 第13回 卷28「野分」・卷29「行幸」・卷30「藤袴」
- 第14回 卷31「真木柱」・卷32「梅枝」・卷33「藤裏葉」
- 第15回 卷34「若菜上」・卷35「若菜下」



日時 2018年 9 / 13・27 10 / 11・25 11 / 8・22

第②・④木曜日 10:00～12:00

場所 (公財) 社会教育協会 日野市多摩平1-2-26
シンデレラビル3階

(JR 豊田駅北口徒歩1分 1階が「すき家」)

講師 青木 登 (紀行作家・NHK 多摩カレッジ講師)

参加費 11,970円(全6回・消費税込)教材費1,200円別途

申込み 電話か FAX でお申込み下さい。

TEL042-586-6221 FAX042-589-3626

主催 公益財団 社会教育協会 〒191-0062 日野市多摩平 1-2-26 シンデレラビル 3階

